

平成26年度 第2回多賀城市公共交通会議 議事録

1. 日 時：平成27年1月27日（火） 14：00～15：30
2. 場 所：多賀城市役所6階 601会議室
3. 議事録

事務局 平成26年度第2回多賀城市公共交通会議を開催致します。

当会議の会長である徳永会長にご挨拶をいただきたいと思います。

会 長 今年最初の会議ということで、あらためまして今年もよろしくお願ひ致します。

多くの自治体で利用者が減少し公共交通をどう維持していくのかという議論が多い中、多賀城市の公共交通に関しては、若干利用者が伸びているということなので、色々な取り組みの成果が出てきているのかなと思います。

さらに多賀城駅の高架化、それに合わせての駅前の整備等もできてきますので街中に出かける楽しいバスの実現に向けて、公共交通も一緒に頑張れば良いと思います。

そういう意味で、皆様方からの忌憚のないご意見をいただいて、会議の進行をさせていただければと思いますので、よろしくお願ひ致します。

事務局 それでは協議に入りますが、ここからは多賀城市地域公共交通会議設置要項の第6条第1項の規定に基づき、会長が議長となり議事進行を行っていきます。会長よろしくお願ひ致します。

会 長 それではさっそく次第に従い、議事に入らせていただきます。

始めに報告事項として、東部線及び西部線の運行実績について、事務局より説明をお願いします。

事務局 [資料に基づき説明]

会 長 西部線は来年度から4条運行になるということで、運行形態が変わります。それに合わせて若干、取り扱い方が変わってきますが、内容的には同じような形で継続したいということで、現在詰めていただいているところだと思います。次の議題で、この関連の話を質問していただいても結構ですので、次の審議事項に移らせていただければと思います。

それでは審議事項ですが、多賀城市生活交通ネットワーク計画の変更について、事務局より説明をお願いします。

事務局 [資料に基づき事務局説明]

会 長 只今の説明について、ご質問・ご意見等あればお願いします。

以前は、路線を市内に限定して、東部線と西部線を一体的に運行することで、よりきめ細かな対応ができるのではないかとということで検討し、この会議でも承認いただきましたが、今の説明にもあった4点の理由で、当面、東部線については現状維持という方針変更になります。

今後、駅前開発が進んで人の動きも変わってくるのが予測されますので、路線についてはその時点で再度検討することになると思います。ただ、まだ見通しが出ていないという段階なので、来年度からの検討は難しいと思います。

要望の多かった下馬方面については、七ヶ浜町にご協力をいただいて、そちらでカバーする形になりますが、いかがでしょうか。

事務局 平成27年度は、現状の運行を継続させていただき、駅前の再開発ビルが平成28年の春にオープン予定となっているので、それに合わせた運行内容の検討を来年度に行っていく予定です。

委 員 ぐるりんこが東部線の現在の休場の場所に停車いただくという話がありました。これはまだ検討中なのでしょうか、いつ頃から停車する予定なのか、その点を教えていただければと思ひ

ます。

事務局 本日午前中に、七ヶ浜町の公共交通会議に出席させていただきました。七ヶ浜町では来年度4月にぐるりんこの再編成を検討しており、それに合わせて休場にバス停を設置していただくということで承認をいただきました。

委員 七ヶ浜町には町内各所を回り、貞山橋を渡って多賀城方向から塩釜方面に向かうバスと、多賀城駅方面に向かう2台のバスがあります。

災害公営住宅や高台団地が整備されたことに伴い、平成27年の4月1日に路線変更を予定しており、その中で、休場の設置についても検討し承認いただきました。

バス停の位置としては多賀城東部線のバス停のすぐ横に置かせていただきたいと思っています。

このバスに乗っていただくと、坂総合病院や下馬駅、イオン塩釜等に笠神地区からアクセスができるようになります。

運行本数は、平日で塩釜方面は30~40本あるので、便利に使っていただけるかと思います。

是非、皆様にご利用をお願いしたいのと、多賀城市にはPRと広報をお願いしたいと思えます。

委員 先日、大代地区の住民からバスが運行しているのは見かけるが乗って良いのかどうか分からないとお話がありました。また、乗ってみたところ、運転手からこれに乗れる方はこういう方々ですなどを言われたということです。取り組みは良いことだと思いますが、PRをもう少し綿密に実施してほしいと思います。私の方でそれを受けた時に、事務局に情報提供しましたが、住民の方々は理解していない部分があると思います。今度ぐるりんこが新たに停車されることになれば、一層、そういったPRが必要だと思います。

事務局 利用者からすると同じ公共バスであり、どこが運行しているのかなどは関係ありません。

ただ、私共の立場としては、市で運行しているバスと町で運行しているバスで、区別をしているところがあります。今回、休場を設置していただいたことも1つのきっかけとして、ぐるりんこも他のバスも是非ご利用いただいて、利用する方が便利になるようPRはさせていただきたいと思っています。

委員 私は笠神地区ですが、そのような話は多く出ています。乗車すると運転手から違うなどと言われたりするそうです。休場に停留所を作っていただけることはありがたいのですが、運転手に徹底していただいて、乗りやすくしていただければ、一層、利用者が増えてくるのではないかと思いますので、その点をお願いしたいと思います。

事務局 ぐるりんこの運転手は、七ヶ浜町からの依頼を受けて七ヶ浜町民のために運行しているという考えだったと思います。そのあたりについても七ヶ浜町とより協議を重ねてお願いしたいと思います。

会長 今のお話は、ぐるりんこの方から乗っては駄目といったことを言われるという話しでしょうか。

委員 そのとおりです。バス車両に表示がついていないというようなことも言われました。

委員 ぐるりんここと表示されていたと思います。

委員 白いバスに水色の波々のような表示があります。

委員 ミヤコーで運行しているバス路線などは、住民が理解していないようです。そのあたりのPRも不足していると思います。特に大代地区の方は知らないと思います。

事務局 多賀城市でミヤコーに運行を依頼している路線は、多賀城東部線 1 本です。大代地区を運行している汐見台団地線については、ミヤコーバスが単独で運行している路線になるので、市としては関与していない路線です。ただ、利用者にとってはどちらのバスが市の依頼で走っていて、どちらがミヤコーバス単独であるか等は関係なく、バスはバスなので、説明しづらい部分ではありますが、同じように P R できれば良いと思います。

会 長 ミヤコーバスとしては、特に利用者制限をかけているわけではないのでしょうか。

委 員 当社の路線バスは制限をかけていません。先ほどのお話については、大代地区から多賀城駅にはぐるりんこでは行けない（取り決めをしている）ので、乗れないなどの運転手の話があったのではないかと思います。

委 員 笠神地区の場合は、乗車しようとした際に運転手から違うなどと言われることが何度もあるそうです。下馬方面まで行きたいのに、そういったことを言われると乗りづらいという話があります。休場にバス停留所が設置すると利用者も多く出てくると思うので、その点の徹底をお願いしたいと思います。

事務局 似たような話で以前多賀城西部線についても多賀城市民以外でも乗って良いのかなどという問い合わせがありました。

利用者の中には、市民しか乗ってはいけないのではないかという意識があることは事実なので、誰でもお乗りくださいといった P R は今後必要だと思っています。

会 長 3 つの運行システムがこの地区には混在する形になるので、利用者にとってわかりやすい P R のあり方が重要で、例えば、時刻表なども本当は 3 つが併記されているようなものがあると、住民の方には便利だと思います。そのあたりは次の検討課題になってくると思います。その他、いかがでしょうか。

委 員 資料 1 の 2 頁で、ダイヤ改正前後の乗車人員があり、J R のダイヤ改正に合わせて時刻を変えたというお話ですが、その結果、大幅に利用者が増えている時間帯があります。これはどのような変更を行ったのか、教えていただければと思います。

事務局 東部線の下りの利用者は、主に仙台からの帰宅者が多いと考えて、多賀城駅に到着する電車で合わせて、その 5 分ないし 10 分後にバスが出発するように設定しました。

また、同じ多賀城駅前から汐見台団地線が運行していますが、出発時間が重ならないように時刻を設定しました。

時間帯をずらして運行することで、汐見台団地線を乗り過ぎしても東部線で乗車できる、もしくは逆に東部線を乗り過ぎしても、次の汐見台団地線で帰宅できるというように設定しました。

委 員 それまでは汐見台団地線とほぼ同時発車だったということでしょうか。

事務局 そのとおりです。利用者からの声でも、ほぼ同時に発車する時間帯があるとの意見がありました。

会 長 ミヤコーバスでも汐見台団地線の利用状況がどのように変化したのかということをご検討いただいて、双方の利用者が増加することによって、利用者にとっても利便性が上がるという形になれば一番良いと思います。また J R のダイヤ変更があると思いますが、きめ細かい調整を進めていただければ良いと思いますので、よろしくお願いします。その他にいかがでしょうか。

委 員 前回の会議の中で、車両の効率的な運用という話題で、予備車両を使って、図書館への運行

に活用したいというようなお話があり、それだと本便の方で故障があった際に、利用者の利便性に欠けてしまうというお話をさせていただきました。そのフィードバックがまだありませんが、結果的に予備車両を効率的に使うのかどうか、そういう部分は提起していくべきだと思います。今はどこのバス会社でも予備車の有効活用はされず、予備車として待機させています。それがもし、効率的に運用できる可能性があるのであれば、それはそれで良いと思いますが、結果はどうだったのかをフィードバックしていただきたいと思います。

事務局 前回の公共交通会議を踏まえて、まだ検討中の段階ではありますが、予備車両として扱う範囲を越えて使用することは難しいという話を内々で行っています。結果については、あらためて報告させていただきます。

会長 特に広報関係でご意見をいただきましたが、審議事項としての生活交通ネットワーク計画の変更については承認いただいたということで、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

事務局 まだ説明していない資料について、説明をさせていただきます。

こちらは、多賀城東部線と西部線の利用促進を目的として、今年1月8日、9日に、東部の笠神地区と西部の高橋地区を対象として、エリア限定の広報をさせていただきました。

方法としては、このチラシをポストに投函、又は、玄関先に住民の方がいた場合は手渡しという形で行いました。

現在、このチラシに対する問い合わせ等はありませんが、配布した者からの報告によると、概ね好評をいただいたということです。

何故、笠神地区と高橋地区に絞ったのかというと、笠神地区は東部線の中でも比較的住宅が多い地域で、団地等も多数ありますので選びました。高橋地区についても同様で、高橋地区は比較的新しい住宅やアパートが多い地区になっているので、チラシを配布させていただきました。

委員 これは運行事業者には、配布していないのでしょうか。運行事業者にも地域の方から時刻表がほしいという話を多くいただくので、在庫として事業者に渡していただければ、これを地域の方に配布したり、下馬の部分は乗り換えしていくということで、ぐるりんことタイアップして乗り換えるということも、こういったチラシに記載しながら周知できれば良いと思います。

事務局 運行事業者にはこういったチラシを配布する旨を事前に伝えてあります。また、時刻表については、東部線と西部線を合わせたチラシがあり、それをバス車内にストックしているので、他の時刻を見たい方はそちらを手にとっていただくことになっています。

このチラシは1月8日、9日に配布したものであり、休場にバス停を設置する承諾が本日いただけたところなので、今後検討していきたいと思います。

委員 この便利なバス利用案内は、各家庭に配布したのではなく、路線の近くの方々に配布したのでしょうか。

事務局 このチラシに記載されているエリアのアパートや住宅にポスティングしました。実際、玄関先にいらっしゃった方には直接手渡しをしました。

会長 行政としては、各家庭に配布したとか、町内会を通じて配布したということですが、意外と住民は見えないとか、色々なチラシが入ってくる中の一つで、見る前に捨てられていたりすることが多いことが悩みどころで、各自治体が苦勞しています。バスに対する苦情の一番は、時刻表がないなどですが、実は事前に配布していることが多くあります。

あと、どうしても行政として作成すると、あまり面白みのないものになってしまうと言いますか、本当は、これを使うとお店で買物ができるとか、この病院に行くのに便利とか、もっと具体的に記載できる部分がありますが、なかなか固有名詞が出しづらい部分があります。それについては、こういった版を無料で提供するという形で、それぞれのお店が自分のチラシの中に時刻表や路線図を入れるとか、あるいはチラシの外側に広告を載せて広告費用でチラシの印刷を賄うとか、色々な方法があると思います。NPOのような団体にやっていただくと、市のバスだけでなく、ミヤコーやぐるりんも全て一緒にしていくこともできると思います。今後、そういった形で、住民目線のわかりやすい広報が実現できれば良いと思います。

委員 JRさんの案内板などは見やすいと思います。

会長 JRとの乗り継ぎも含めて、このバスに乗ると何時のJRに乗れるとか、そういったところまで配慮すると、利用者にとっては使いやすい時刻表になると思います。

事務局 今回はエリア限定で試験的に配布させていただいたのですが、東部線と西部線をあわせたチラシは全世帯に配布しています。今回ポスティングした理由の一つとして、先ほど会長からのお話もありましたが、なかなか見ていただけないということがあり、新聞の広告に挟むという方法も検討しましたが、単独で配布することと、他のチラシと一緒に配布するのでは、どちらが見ていただけるかと考え、今回ポスティングをさせていただきました。

会長 こういった時刻表の見方は、昔から公共交通を利用している方は違和感がないのかもしれませんが、普段、自動車で移動されている方は、この時刻表の見方はわかりにくいと思います。東部線や西部線は路線が単純なので良いですが、ぐるりんこの時刻表を見た時、解読がなかなか難しいと思いました。

先日、山元町で試乗していたとき、このバスはこの場所には停車しないなど、利用者同士で会話をしていたのですが、実はその場所に停車するバスでした。

この時のバスは、利用者が普段乗車しているバスと違い途中でルートが変わるため、停車しないという思い込みがあったと思います。

その結果、バスがないとか帰りの便がないなどの意見が出てくるという問題もあるので、広報は使い慣れていない方に理解していただく努力が大変だと思います。是非、色々な方法を利用して頑張ってくださいと思います。その他にいかがでしょうか。

委員 ミヤコーバスからの公共交通に関する情報ということで、少しお話をさせていただきたいと思います。当社では路線バスでは汐見台団地線を運行していますが、大変な運転手不足に陥っています。特に塩釜営業所が一番不足している状況で、毎日他の営業所や本社からの応援で凌いでいるという状況です。10月18日に一度、土日ダイヤについて、利府町内の路線を中心に減便をさせていただいたのですが、その後も運転手不足が解消しないため、今度の3月14日のJRのダイヤ改正に合わせた形で、再度、減便のダイヤ改正を行いたいと考えています。汐見台団地線は昨年10月の際は対象になりませんでした。今回は3月14日の改正の際に汐見台団地線でも減便をさせていただきたいと考えているところです。具体的には、現在、平日上りと下りを合わせて29便運行していますが、これを23便にして6本の減便ということで考えています。比率にすると約2割の減少になります。同様に土日についても、現在19便運行しているものを16便にして、3本の減便ということになります。これは利用者には大変ご迷惑をおかけ致しますが、全国的なバス運転手不足の流れからなかなか脱することができず、特に被災地においてはダンプとかトラック等で大型二種を保有されている方の仕事に流れて

いるという現実もあり、運転手不足が続いている状況です。この状況が改善したら、また増便も考えていきますので、しばらくの間ご辛抱いただければと思います。大変なご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、ご理解いただきたいと思います。

会 長 ミヤコーバスに限らず、他の自治体でも運転手不足に苦勞しているところもあるようですが、震災復興関係でトラック等に取り残されてしまっているということもありますが、若いドライバーの志望者が少ないということが問題の根本にあると思っており、地域の交通を支えるという意味では本当に重要な役割ですし、地域の方々を支えているという意味では非常にやりがいのある仕事だと思いますので、もしお近くに職を探している方がいれば、声をかけていただければ良いのではないかと思います。現在は人員が不足しているので、運転手にかかる負担も大きく、それがきつい仕事だという印象を与えて、ますます希望者が少なくなっていく悪循環になってしまっている部分があります。高齢者の方に感謝してもらえとか、そういったやりがいを持った職場だということをもう少しアピールできれば、積極的に実施してくれる方もいると思います。こういった仕事が地域で回っていくような社会にしていかなければ、なかなか厳しいと思います。利用者がいるのに減便せざるを得ないという状況です。その他にいかがでしょうか。

委 員 JR多賀城駅ですが、先ほど話にあったダイヤ改正について、3月14日にダイヤ改正を行います。ただ、仙石線は今回ほとんど変更ありません。

会 長 仙石線は比較的、運行本数が多いので、多少ずれても、次の便で対応する形になるから良いと思いますが、多くの場合は1時間に1本しかないところに合わせていたのに、それがずれて合わなくなったということになると、公共交通事業者にとっては死活問題で、その便がなくなることには等しい状況になります。バスの運行時間にJRを合わせてほしいとは言えませんが、JRが変更するのであれば、それに合わせてバスも変更するというスタンスなので、その情報をなるべく早めに教えていただければ、スムーズにダイヤ改正に合わせてバスもダイヤ改正ができると思います。

委 員 なるべく早く情報を提供できるように調整させていただきます。

会 長 その他にはよろしいでしょうか。なければ、以上で協議は終了となりますので、司会を事務局に戻します。

事務局 ありがとうございます。それでは委員の皆様、長時間に渡る議論をありがとうございました。ここでの協議内容及び意見等を踏まえて、今後のバス運行計画の策定等を進めさせていただきます。なお、今回の会議の結果については、要項第6条の規定に基づきまして、ホームページ上で公開致しますのでご了承願います。今年度の公共交通会議は、今回で終了となりますが、また来年度以降も会議は開催する予定となっていますので、どうぞよろしくお願い致します。以上で、平成26年度第2回多賀城市公共交通会議の全てを終了致します。本日はどうもありがとうございました。